

様式⑦ 小学校・中学校)		確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画】							
中学校区におけるめざす子ども像		堺市立 新 金 岡 小 学校 校 長 田 中 久 雄							
「主体的に、学び続ける子」 社会に出ていくのに必要な力をつけるために学び続ける子の育成をめざす									
令和7年度 重点目標									
「心豊かで、主体的に学び、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成」 ○ 自ら学び 自ら考える子ども ○ なかまを大切にし 協力する子ども ○ よく働き 最後までやり抜く子ども ○ 健康で がんばりのきく子ども 『優しい言葉遣いと自律』『Change & Challenge』									
確かな学びの現状		豊かな心・健やかな体の現状							
CBT調査結果からみると「自分で計画を立てて勉強していますか」の学習計画力、「学校で学習したことをふだんの生活の中で使う場面がないか考えていますか」の活用・応用力、「ふだんからなぜだろう、しらべてみたいなどと思うことがあるか」の課題設定力、「学んだ内容について振り返り、何ができるようになったか(自分の成長)を実感できているか」の自己省察力が堺市平均を下回っていることに課題がみられる。児童のアンケートで、「先生はわかりやすく教えてくれる」「授業中、友達とともに学び合うことは楽しい」の肯定意見が98％、96％にも関わらず、「学校へ行くのが、楽しい」「ノートやワークシートに自分の考えや思いを書いている」の肯定意見が90％を下回っていた。そこで研修主題を『自ら学習を進めることができる子どもの育成』に設定し、授業では導入、学びの見直し、ふり返りの3つの場面に焦点化する。教職員が子どもたちを引き付ける授業づくりにについて考え、児童が今までの学習から見直しや計画を立て、仲間と協力し合って学習を進め、学習を振り返ることによって確かな学びへと深められるように取り組んでいく。		●「学校に通っていて不安になることがない」「いじめについて周りの人に相談できる」「友達との関係、先生との関係に満足している」と答えた児童の割合が、堺市の平均よりも高かった。しかし反面、「自分のことを大切に思っている」「自分はやればできると思う」「自分には良いところがあると思う」と答えた児童の割合が、堺市の平均を下回っていることに課題が見られる。児童のアンケートで「今通っている学校をよくするためにはどうすればいいか」の質問に「きまりを守ること」を挙げたり、「学校のきまりやルールに満足している」と答えたりする児童が多くいるにも関わらず、「学校のきまりやルールを守っている」と答えた児童は90%を下回った。 ●「駆け足や縄跳びなどにはがんばって取り組んでいる」と答えた児童が多いものの、「外で体をうごかすことは好きだ」と答えた児童が堺市平均を下回っている。また新体力テストでも、男女とも、「握力」「長座体前屈」が堺市平均に届いていないが、「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」は堺市平均を上回っている。							
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認(～9月) ○成果 ●課題	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	様々な対話や関わり合いを通して学びを深める子どもを育成する	●「自ら学習を進めることができる子どもの育成」をめざして、授業づくりを行う。 ・ふりかえりを通して、児童の学びを見る。	・「ノートやワークシートに自分の考えや思いを書いている」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」60%以上。② ・児童のノートやワークシートの記述 ・「授業中、友達とともに学び合うことは楽しい」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」80%以上。⑩	学校アンケート	年度末	●1年生はひらがなを学習し終わってから少しずつ自分の考えや思いをノートに書く取り組みをしているが、上手に書ける児童はまだ少ない。地道に取り組んでいく。 ○子どもの実態に合わせて、「ペアでの話し合い」「グループでの話し合い」「うろうろタイム」を使い分け、目的に応じて行っている。 △○音楽の時間には、Teamsでふり返りを書き、それに対して返信し、個人目標を立てられるようにしている。 ○どの教科も学習後には振り返りを書くようにしている。今後も各学年で、しほりだすだけ書いていくという習慣をつけていく。		
			・校内全体研修を年7回と他の先生たちの指導(授業のやり方や子どもたちとの関わり方)を知ったり、学んだり、他の学級の雰囲気を感じることで、今後の自分の授業に生かすプチ参観を行う。学年会を週1回実施し、教材研究を行い、「見方・考え方の働く 深い学びのある授業」をめざして取り組む。	・研究授業後の協議会を通して、今後の授業づくりについて考えていく。 ・積極的に授業づくりに取り組み、自身の授業をふりかえる。	実践報告	各学期末	○5月の最初の全体研修会で研修の方針を示し、さらに各協議会の前に研修テーマや方針、系統を確認する。 ○研修テーマを意識して、授業づくりに取り組んだり、自身の授業をふりかえている。 ○研修で学んだことを今後の授業づくりに活かせるように、協議会での話し合いを持っている。 ○研究授業を通して「見方・考え方の働く、深い学びのある授業」を全職員が意識的に作ろうとしている。 ○研究授業を行うことで、様々な意見を参考にしながら、教材研究を深めることができている。		
			・ICTを活用した授業改善および情報活用能力の育成を図る。	・1日1回以上パソコンを活用する。 ・「パソコンを使った学習はわかりやすい」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」80%以上。⑬	学校アンケート	年度末	○朝パソコンの電源を入れて机の横にかけ、必要に応じて使用するようにしている。 ○パソコンを使うことに興味を持っている児童が多く、意欲的に取り組んでいる。 ○子どもの発達に応じて、できるだけ毎日パソコン活用するようにしている。 ○パソコンを効果的に各教科で活用し学習できている。今後も目的をもち計画をたてて活用していく。 ○ICTのインフルエンサーを呼び、ICTを活用した授業づくりについて理解を深めた。		
	学習習慣	自主・自律的に学ぶ力を育成する	★すべての教科で「わかる授業」を実感させ、学習意欲の向上を図る。	・「先生は、わかりやすく教えてくれる」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」80%以上。⑭	学校アンケート	年度末	○課題設定、見通しのところに力を入れ、子どもたちにとってわかる授業、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。 ○ 今後も子どもたちにとってわかる授業、分かりやすい授業をめざしていく。 ○学習が苦手な児童には、単元学習中や単元学習後にフォローをしている。 ○具体物を用意し、わかりやすい授業を行うようにしている。		
★「家庭学習の手引き」等を基に、自主学習ノートの充実など家庭学習習慣の定着に取り組む。			・「宿題など家庭学習をがんばってやっている」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」75%以上。⑰	学校アンケート	年度末	○宿題はきっちりできている子がほとんどである。 ○自主学習を始め、学習のやり方を示したり、児童の自主学を紹介したりして意欲を高め、定着させてきている。 ○毎週末、自主学習を行うことができる学年もある。 ○適宜自主学習に取り組む、児童間交流も行っている。(良いものは校内掲示している。)			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人権感覚と道徳性の育成を図る	・あらゆる教育活動を通じて、自尊感情や規範意識を高める。 ・人権に関する授業参観を年間に1回行い、家庭と連携して子どもを育てる一助とする。 ・支援学級との交流を行い、違いを認め合える豊かな心を育成する。	・「自分には良いところがある」の肯定意見70%以上。⑱ ・人権に関する授業参観を年間1回行えたか。 ・支援学級との交流を年間1回以上行えたか。	学校アンケート 実践報告	年度末	○人権に関する授業参観(各学年、日曜参観(11/9)で実施予定) ○支援学級との交流会(1年生:4月 2年生:10月 3年生:5月 4年生:10月 5年生:10月 6年生:3学期)予定通り行えている。		
			★いじめの未然防止と早期発見に、より適切な対応に努める。 ・いじめ防止シートに則り、いじめの早期発見や未然防止に努める。 ・新金岡小学校いじめ防止対策基本方針の改定及び、全職員への周知の徹底を行う。	・毎学期の生活アンケートを元に個人面談を行い、互いを認め合う指導を行うとともに、早期発見・早期対応を行えたか。	生活アンケート	毎学期	○ ○1学期は予定通り実施できた。今後も継続していく。		
			・児童会やなかよし交流会や、学級会等を通じて、リーダー性や自主性を育て、自他のよさを認め合うことができるようにする。	・「児童会活動・なかよし交流会が楽しい」の肯定意見90%以上かつ「そう思う」75%以上。④	学校アンケート	年度末	○ ○児童会やなかよし交流会の行事は予定通り実施できている。子どもたちが楽しく取り組んでいる様子も見られる。		
	体力の向上	運動に親しむ環境を整え、体力の向上と健康の維持を図る	・体育の授業をはじめ、運動の日常化を図り運動への意欲を高め、体力や運動能力の向上に努める。 ・「かけ足」や「なわとび」等を児童会や体育委員会と連携して取り組む。	・「運動することが好きだ」の肯定意見80%以上。⑳	学校アンケート	年度末	○体育大会に向けては、どの学年も積極的に楽しんで練習に取り組む姿が見られた。 ○水泳授業も、各自が自分の泳力アップに積極的に取り組んでいた。 ●6月～9月は暑い日が続き、日常的に運動に親しむことができなかった。 ○今後涼しくなるので、「かけ足」や「なわとび」を子どもたちと内容を考えながら、楽しく取り組んでいきたい。		
			・食育や眼育を充実させ、児童の健康に対する意識を高めるよう、養護教諭・栄養教諭を中心に、全教職員で取り組む。	・「早寝・早起きができる」の肯定意見75%以上。㉑ ・「給食は楽しみ。」の肯定意見90%以上。㉒	学校アンケート	年度末	○子どもたちが毎日の給食を楽しみにしている。給食場前に、毎日の献立についてのお話が書いてあり、TVにも毎日の献立とお話を映すことで、食材や食文化に興味を持たせている。 ○栄養教諭が各学級で食育授業を行っている。 ○養護教諭が毎月の「健康だより」を発行することで、健康に対する意識を高めている。		
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行い、地域とともに歩む学校づくりを行う	・地域人材を積極的に活用し、地域の中の学校づくりを進める。	・ゲストティチャー等を活用した授業等を行う。 ・中学校区で連携し、情報交換や学びの共有を行う。	実践報告	年度末	○見守り隊、安全管理員さんの他にも、地域防災士さんによる防災のお話や、お話ボランティアさんによる本の読み聞かせなど、地域の方々によく学校に来ていただいている。		
			・学校ホームページ(毎日アップ)、校報(月末発行)、学年だより(月末発行)等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	・「学校での取組を学校だよりホームページ等でわかりやすく伝えている」の肯定意見90%以上。㉓	学校アンケート	年度末	○ ●学校ホームページを毎日アップしているが、大きな行事のある日以外の閲覧数はなかなか伸びない。 ○校報(月末発行)は、毎月地域にも届けているので、学校の様子をよく知ってもらえている。		
校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)	